

# 足利市地域福祉会館だより



令和5年12月号 足利市山下町1312番地1

☎ 0284-62-7690



山前絵手紙愛好会さんの作品

初冬にちなんだ素晴らしい絵手紙の作品をいただきました。次回号もお楽しみに！

## 4年ぶりに山前文化祭に出展しました！

10月21日（土）から22日（日）にかけて4年ぶりに開催した第46回山前文化祭では、「身近な人権について考える」をテーマにパネル展示を行い、多くの方にご覧いただきました。今回は、「部落差別（同和問題）」、「こども」「性的マイノリティ」に関する人権問題を中心とした構成にしました。来年度以降も、最新の人権情報の展示を企画していきたいと考えておりますので、皆さんのお越しをお待ちしております。



人権と福祉トピックス『世界人権宣言』

我が国では、12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、全国的な人権啓発活動を行っています。この日は、世界人権宣言が採択された日です。今回は、この宣言の意義について考えます。

20世紀には、世界を巻き込んだ戦争が二度も起こり、多くの人命が奪われました。特に第二次世界大戦では特定の人種の迫害、大量虐殺等人権を踏みにじられるような出来事も多く発生しました。

こうした悲劇を二度と繰り返してはならないという反省から1945年国際連合（国連）が設立されました。また、人権を守ることは世界平和にもつながるといえることから、1948年12月10日、国連第3回総会において「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言には、全世界に共通する基本的な人権尊重の原則が定められており、世界各国の憲法や法律にも取り入れられています。また、この宣言を基に多くの人権条約が制定されています。



# 「マイクロアグレッションを吹っ飛ばせ！～やさしく学ぶ人権の話～」開催報告

9月24日、大東文化大学 文学部特任教授 渡辺雅之さんを講師に招き、難しいと構えがちな「人権」について基礎から分かりやすく、時にはユーモアを交えながらご講演いただきました。

差別問題は、今ここにある問題であるが、常に歴史の問題とつながっている。歴史的経緯を知らないとなぜ差別していけないのかが分からない。私たちは、次の世代へつなぐためにも、歴史を学ぶ必要がある。

差別は、社会の問題であり、全ての人々が当事者である。ヘイトスピーチが存在しているのには、差別を下支えしている、認めている私たちの社会がある。関東大震災では、デマで多くの朝鮮人が虐殺された。急に虐殺は起こらない。その根底に、日本社会の朝鮮人に対するさげすみや差別があった。

「マイクロアグレッション」は、心の中に潜む気づきにくい偏見と差別である。人は誰でも未経験の物事に対しておそれ、不安、違和感を持つのは当然である。しかし、相手と一緒に生活し、対話していく中で次第に相手のことを理解していく。しかし、相手に対する思い込み「ステレオタイプ」にマイナス評価が加わると偏見になり、偏見に悪意が加わると差別につながっていく。

「車いすの〇〇さん」のように、見た目でアイデンティティの一部に過ぎないものを全てのものとしてとらえてしまうことを「バイアス」という。バイアスは、サングラスのようなもので自分を守る意味で大切であるが、時には、はずしてみたりして視点を変えてみる必要がある。



## □人権関連貸出図書のご紹介■

### 『ヘイトをのりこえるための教室 ～ともに生きるためのレッスン～』

共に生きていくために、何が必要か元高校教員や牧師として神奈川県川崎市で地域の外国籍住民の歴史発掘や多文化共生の活動に取り組んできた著書からのメッセージ

発行元：大月書店 著者：風巻浩・金迅野  
出版年：2023年

☆ご興味のある方は会館まで!!

当館では生活上の各種相談を行っています。  
生活相談（経済問題）、職業相談、福祉相談  
◆相談受付時間  
平日 午前8時30分～午後5時

足利俳句会さんの作品より



文芸コーナー

突然に大きな秋が顔を出し  
晴れすぎて落ち着かなくて秋の蝶  
歌碑語る勿来の関や萩の道  
月明り障子に揺れる芒かな  
双肩に懸かる八冠天高し  
沖繩の塩の甘さや衣被  
踊り果て真夜に櫓のぼつねんと  
新緑の風にまどろみあすをみる  
一足に谷越えていく龍田姫  
正倉院展日本の至宝秋深む

弘一 礼子 ゆみ くら 恵美子 トリ子 ヒロ子 陽子 房子 守枝

## 編集後記☺

今年の秋は、なかなか季節感を感じられずに冬を迎えそうです。来年2月に人権講演会が予定されています。詳細は、あしかがみ1月号をご覧ください。